

近鉄南大阪線

かみのたいし

上ノ太子駅(羽曳野市) ~ 磐城駅(奈良県葛城市)

歩行距離 11.5km
標準歩行時間 2時間23分
標準所要時間 5時間
(標準所要時間とは 観光、休憩を含めた時間)

太子町からいよいよ奈良県へ。敏達、用明、推古、孝徳など天皇の墳墓や聖徳太子御廟があり、「王陵の谷」とも呼ばれる太子町付近には飛鳥文化の香りが漂います。途中にある道の駅「近つ飛鳥の里太子」では地元のお菓子なども販売されています。竹内峠に立つ県境の碑を超えれば、奈良県葛城市に入り、風情ある竹内集落を経て長尾神社へ。



聖徳太子御廟

聖徳太子とその母・穴穂部間人(あなほべのはしひと)皇后、妃・膳部女(かしわでのいらつめ)の墓を守るため、推古天皇が建てたとされる寺。太子ゆかりの寺として歴代の天皇や時の権力者、日蓮や親鸞なども参拝したということです。織田信長による焼き討ちに遭ったのち、後陽成天皇の勅願により豊臣秀頼が再興。



竹内街道歴史資料館

竹内街道と太子町の歴史について紹介する太子町立の資料館。展示やパネル、マジックビジョンを使って、街道の歴史の始まりから現代にいたるまで、時代に応じた変化の様子を分かりやすく解説しています。企画展や特別展なども随時開催され、竹内街道をさまざまな角度から知ることができます。



芭蕉の綿弓塚

元禄文化を代表する俳人・松尾芭蕉は、門人の一人である千里(ちり)の出身地、竹内を何度も訪れ数点の俳句を残しました。そのうちの一句「綿弓や 琵琶になぐさむ 竹のおく」は、好句として綿弓塚という石碑が建てられました。そばには民家を利用した休憩所もあり一息つきのにピッタリ。



「歴史国道 竹内街道 竹内峠」

平成7年(1995)、太子町春日から當麻町長尾神社までの道は、国によって歴史国道「竹内街道 竹内峠」に選定されました。往事の面影を保存し、歴史的・文化的要素を復元。街道周辺に地域の歴史文化と触れ合うことのできる魅力的な空間をつくり、道と地域の歴史文化が継承されるように整備されています。



スタート地点までの電鉄情報

大阪	大阪阿部野橋駅	近鉄南大阪線・準急	約27分	上ノ太子駅
奈良	橿原神宮前駅	近鉄南大阪線・急行	約8分	尺土駅
		普通	約12分	上ノ太子駅

帰りの電鉄情報

大阪	磐城駅	近鉄南大阪線・準急	約39分	大阪阿部野橋駅
奈良	磐城駅	近鉄南大阪線・準急	約18分	橿原神宮前駅

